

各 位

2003年4月21日

経口血糖降下剤『オイグルコン[®]』および 強心配糖体製剤『ラニラピッド[®]』の販売移管について

中外製薬株式会社〔本社：東京都中央区／社長：永山 治〕（以下、中外製薬）は山之内製薬株式会社〔本社：東京都中央区／社長：竹中登一〕（以下、山之内製薬）との間でこの程、経口血糖降下剤『オイグルコン[®]』（一般名：グリベンクラミド）と強心配糖体製剤『ラニラピッド[®]』（一般名：メチルジゴキシン）について、2003年10月1日をもって山之内製薬から中外製薬へ販売を移管することで基本合意に達しましたのでお知らせいたします。なお、製造承認は従来から中外製薬が保有しております。

この基本合意によって、中外製薬は2003年10月1日以降、『オイグルコン[®]』と『ラニラピッド[®]』の販売ならびに医療機関への情報提供、収集活動を行います。

『オイグルコン[®]』は、糖尿病の標準治療薬としてその有用性が世界で広く認められています。日本では1971年に販売を開始しました。また『ラニラピッド[®]』は心不全および不整脈治療においてその有用性が世界で広く認められており、日本では1979年に販売を開始しました。

中外製薬は、経口糖尿病用剤『ジアベン[®]』をはじめ、その合併症関連で腎性貧血治療剤『エポジン[®]』、高脂血症治療剤『ベザリップ[®]』や高血圧治療剤『プレラン[®]』、狭心症治療剤『シグマート[®]』、ビタミンD₃製剤『アルファロール[®]』『ロカルトロール[®]』を。また心不全および不整脈治療関連では、強心配糖体製剤『ジゴシン[®]』、不整脈治療剤『リスモダン[®]』を販売しています。

今回、新たに『オイグルコン[®]』および『ラニラピッド[®]』がラインアップに加わることでより糖尿病領域、心不全領域の強化が図られることになり、医療現場に一層の貢献ができるものと考えています。

以上

なお、山之内製薬株式会社からも、本件に関する資料配布がされております。